

## ウイルス病

えそモザイク病：C M V

えそ斑紋病：I N S V

黄化えそ病：T S W V



C M V 病徴



I N S V 病徴(上下)



T S W V 病徴(上下)

### 【被害と発生生態】

#### えそモザイク病

葉に白色のえそ斑を生じ、後に黄化して奇形となる。生育中期の感染は病徴部位から湾曲して開花不良や奇形花となる。また、多発するとほ場全体の生育が不揃いになる。C M Vはほ場周辺の雑草などに感染しており、アブラムシ(有翅)の発生に伴って栽培ほ場に持ち込まれる。ほ場管理が悪く、アブラムシが多発すると、C M Vが多発することがある。

#### えそ斑紋病、黄化えそ病

I N S VとT S W Vは同じ属に分類され、両ウイルスとも、ミカンキイロアザミウマによって伝搬される。病徴はえそ斑紋、えそ輪紋、えそ斑点、葉の黄化などがあるが生育段階によって異なる。また、両種の病徴は酷似しているため、病徴だけの判別は困難である。なお、27以上の高温では感染していても発症しないことがある。